



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会 発行日 2021年3月7日

№. 82

イエスは、わたしたらの罪のために死に渡され、
わたしたらが義とされるために復活させられたのです。

ローマの信徒への手紙 4章25節



礼拝献花より

御言葉に生きる

あなたの御言葉は、わたしのものとなり わたしの心は喜び躍りました。

エレミヤ書 15章16節b

ルーター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



シリーズ説教

『神を思う方法』

牧師 佐藤和宏

マルコ8章31節～38節

「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」

しかし、人間のことを思ってしまうのは、ペトロだけではありません。私たちもまた、神のことを思わず、人間のことを思う一人ひとりに過ぎないと言えるでしょう。パウロが「そういうことを行っているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。(ローマ7章17節)」と言っている通り、罪は私たちが神から引き離し、私たちが神を思うことを妨げる力となっているのです。神のことを思いたいとしながらも、自分のこと、人間的なことを思ってしまう。これが私たちが罪人であるゆえんなのでしょうか。一体、どのようにして神を思えばいいのでしょうか。

一昨年から使用し始めました改訂共通聖書日課では、毎週、その主日

の詩編が選ばれています。今日はこの日の詩編に目を向けたいと思います。今日の詩編として選ばれているのは、詩編22編24～32節になります。

「聖書略」。「主を賛美せよ」、「主に栄光を帰せよ」とありますから、主なる神に心を傾け、今日の主題で言うなら、ここには「神を思う」姿が示されていると言えるでしょう。神

の大きいなる御業を目の当たりにし、それが自分たちを喜ばせている。そのような状況が目につかぶようです。

しかし、この詩編22編は決してそのような喜びで始まった詩編ではなかったことを、私たちは思い起こさなければなりません。「わたしの神よ

わたしの神よ／なぜわたしをお見捨てになるのか」と、この詩編は始まっているのです。これは主イエスが十字架の上で叫ばれた言葉になります。

十字架の苦しみの中で叫ばれたこの言葉は、神への呪いと絶望を想像させます。それは神ではなく、人を思う心から絞り出された叫びのように聞こえます。またそれは、今日の詩編にみる「主を賛美せよ」／「主に

栄光を帰せよ」といった、喜びのうち

に神を思うことへと、決して私

ちを導くようには思われたいのです。

この詩編は確かに、絶望の中からの神への叫び、すなわち人の思いによって始まり、それを口に十字架の上で息を引き取られた主イエスも、私たちと同じ人となられて叫ばれたのだと思えます。しかしこの詩編は4節にみる「だが」という一言で一転し、主なる神への信頼へと展開しているのです。見捨てられたかのように感じる現実の中、それでも主に向かって叫ぶしかない人の姿が明らかにされていますし、十字架の上で苦しめられた主イエスの叫びが耳に響きます。

しかし、それら人の思いから出る叫びは、絶望に終わることがなく、神を思う心へと導かれて、希望へと展開されているのです。その展開をもたらしたのが、「だが」という言葉に込められている信仰にほかなりません。主イエスが、十字架の上で叫ばれ

のちの人々に残されたのは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになっ

たのですか」というこの22編冒頭の言葉でした。しかし、十字架の主は絶望の中からの叫びに終わることなく、「だが」と、絶望の中

にありながら、父なる神への希望を確信し、従う私

たちも、そのようであるようにと願

われたにちがいありません。そして、この十字架の主は、困難に直面し、人間の思いによって絶望し、また人間の常識を持ち込んで対応しようとする

ことがある私たちもまた、「だが」と、神を思う心へと導かれ、神の御心にすべてを委ね、真の希望へと至らせるのです。

日々の生活の中で、絶えず人間のことを思ってしまう私たちがいます。人の思いに溢れる日常ですから、その只中にある限り、私たちは人間のことを思ってしまうのです。そしてそれは私たちの罪のゆえなのです。ですから毎週、礼拝のたびにその罪を告白し、御言葉と聖霊の交わりをいただいて、「だが」と神のことを思うときが必要なのです。「神の思う方法」は、私たちの知識でも努力の結果でもなく、人を思ってしまう私たちが、それでも繰り返して「だが」とすべてを見つめ直す心にあるのです。絶えず人のことを思ってしまう私たちが、礼拝のたびに「だが」と神を思う者へと変えられて新しく生き始めることができるのです。

(四旬節第2主日)

藤が丘ウェブサイトでは、説教を音声で聴くことができます。

<https://www.jelc-fujigaoka.org/>

教会の二つの額縁

山〇恵〇

藤が丘教会集会室と台所の仕切り戸の鴨居の上に、二つの額縁が飾られているのをご存じですか。中身が読めないの理解のしようがないのか、ほとんど誰からも注目されていないようです。

両額縁表題の漢字には、ルビが振ってあります。一つは「ヘボン・ブラウン訳 新約聖書・約翰(ヨハ



■左がヘボン・ブラウン訳、右がゴープル訳

ネ)伝」、もう一つは「ゴープル訳 摩太(マタイ)福音書」です。両方とも初版の版木から印刷と記されています。

この漢字表記「約翰(ヨハネ)と「摩太(マタイ)は、すでに聖書が翻訳されていた清王朝時代の中国語表記を使用したものと考えます。

一つ目の額の名前の方々は、ヘボン(James C. Hepburn) 宣教師とブラウン(Samuel R. Brown) 宣教師です。幕末から明治初期の著名な宣教師です。ご存じの方もおられると思います。ヘボンとS.R.ブラウンは、明治5(1872)年に「新約聖書馬可傳(マルコ)」「同約翰傳(ヨハネ)を、また明治6(1873)年に「同馬太傳(マタイ)を、木版刷りで出版しました。また明治学院大学の創設者の一人として知られています。詳しくは『横浜開港と宣教師たち』(有隣新書)を参照してください。

今回はもう一つの額の「ゴープル訳摩太(マタイ)福音書 1871」について述べたいと思います。ゴープル宣教師は今や忘れ去られた存在

のようなので、少し詳しく説明いたします。

「ゴープル」はジョンナサン・ゴープル(Jonathan Goble)と云々、ABENS(米国バプテスト自由伝道協会)から日本に開拓伝道者として派遣されたバプテスト教会宣教師です。なんとこの人は19歳の時に金品脅迫で2年服役します。獄中で改心、出所後洗礼を受けます。1851年に米海兵隊に入隊し、ペリー提督率いる艦隊の乗組員に応募しミシシッピ号で、幕末の嘉永6年6月(1853年7月)に浦賀に上陸しています。ペリー艦隊の一員として帰国途中当時の琉球(現沖縄県)に立ち寄りの際、そこでオランダ伝道協会宣教師ベッテルハイムと出会い、聖書の日本語翻訳作業を知り宣教師として日本に戻りたいとの思いを抱きます。

除隊後マジソン学園アカデミーで宣教師の教育を受ける。そして1860年4月(安政7年3月)ABENSの宣教師として再び来日(横浜着)します。

そして苦難の末、キリスト教禁制下の明治4(1872)年に国内初の分冊聖書『摩太福音書』の翻訳を終

え、木版にて印刷しました。なお、当額縁では1871年と期されています。江戸幕府時代からのキリスト教禁制の高札が撤去されるのは明治6(1873)年です。この『ゴープル訳摩太福音書』は日本語訳聖書としては初めてのものではないですが(シンガポール発刊のギユツラフ訳版約翰福音之傳が現存する最古の日本語訳聖書)、日本での出版としては初めてのものです。ちなみにこれらの聖書は「明治元訳聖書」と言うそうです。

この額の中身について説明します。文章は読めそうで読めない文字で表記されています。この文章は当然縦書きで、草書体の仮名文字中心に書かれているのがわかりました。歴史的仮名遣いで表記され、しかも句読点は当時採用されていません。

第1行目から6行目まで句読点を付けて記載しますと次のようになります。

かつペテロ、イエスウをわきにつ
れだして、いさめはじめたまうすに
ハ、

それをあなたにとほぎけよ、公(キ
ミ)やこれをあなたにおよばすべか

手紙を残しています。

「悪文」である理由としては、第一にパウロ自身、具体的な対象、目的をもって書いた手紙であるということですので。つまり、事情がわからない者（それぞれの手紙の受け取り手以外）には、わからない内容が多々あるということ。それを補充するために、使徒言行録の該当箇所は、手紙の背景を薄つすらと知る助けになります。）第二に、第一で述べたことと重なりますが、パウロは自分の書いた手紙が聖書に加えられて、後代の人々に読まれるとは考えていなかったということ。このことは、福音書記者にも言えることです。彼らも、福音書を書こうとしたのではなく、後代の人々が「福音書」としたのです。）第三に、新約聖書はギリシャ語で書かれ、それが日本語に翻訳されています。翻訳という工程は、文化が入り込むことになり。つまり、パウロが生きた地域、時代、習慣、常識など、それを日本の文化に転換するという作業になります。

生身のパウロが感じたこと、伝えたいことを、地域も、時代も、習慣

も、もちろん考え方も違うであろう日本の文化に翻訳することは、極めて難しい作業だと思われ。第四に、翻訳をする方々は多くの場合、神学者になります。もちろん有能な方々ですが、日本語のスペシャリストではありません。どうしても解釈が入り込んだり、説明しようとして、また文字数も限られていますから「悪文」になりがちなのだと思います。

私の愛唱聖句の一つにイザヤ書55章8節以下がありますが、そこで主なる神は「わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり」「高く超えている」と告げられています。私たちが「理屈」を用いる限り、私たちが間の思いに従っている限り、この「異なり」「高く超えている」神の御心は受け止められないのだと思います。それが「言葉の知恵によらないで」告げ知らせた理由でしょう。「言葉の知恵」を用いれば、人を説得することはできるかもしれませんが。しかし、信仰とは説得することでも、説得されることでもなく、神の働きによるのです。少しでも、お役に立てれば幸いです。（完）

■月報委員会を開きました。

委員長 ○谷姉
担当役員 ○木○姉
委員 ○田姉、○山姉、江○姉、
○野姉



なっ！ 何と3月1日、月報委員会は初めてリモート会議を開催しました。先生のきめ細やかなご指導の下、途中犬の鳴き声、ピンポンの音、急に画面から消えたり、無声になったりのハプニングの中、昭和アナログ人間数人を含む委員会は無事終了。

今年度発行する月報について協議しました。

委員一同、先生と共に心を1つにして皆様が待ちわびるような藤が丘だよりをお届けできます事を祈りつつ。どうぞ宜しくお願いいたします。（江○）



上の画像は、先日の委員会の際のスクリーンショットです。上記のように顔を合わせながら会話が出来ます。学びの場面や委員会、あるいは講演会など、幅広く用いることができると思います。

環境をお持ちでない方は、たとえば教会に集まって参加するなど、柔軟に対応できるでしょう。今後可能性を探ってまいりたいと思います。

（佐藤）

■教会の動向



2月の教会は、2日に受洗後の学びがありました。3日は聖研がありました。7人の出席でした。

7日は、顕現後第5主日の礼拝で、役員就任式(A)がありました。9日に受洗後の学びがあり、最終回でした。13日に学びの時間がありました。

14日は、主の変容の礼拝で、役員就任式(B)がありました。今年は、礼拝を2グループに分けて実施していきますので、役員就任式もそれぞれの

グループごとにいたしました。礼拝後、定例役員会が開かれ、次のことが協議されました。

1 役員を担当

代議員・田〇〇夫兄、山〇〇子姉
書記・〇木〇子姉 会計・〇田〇一郎兄(管財兼務)、〇野〇之兄
伝道教育・〇田〇郎兄、山〇〇子姉、田〇〇夫兄 奉仕・江〇〇子姉
よろしくお願いします。

2 教会総会の振り返り

役員選挙を事前投票としたことにより、総会の時間が短縮され、投票数も多くなった。

3 今年度の宣教計画の具体化

礼拝後に地域グループごとに学ぶ時間を用意することにしました。具体的な計画は、次回役員会で協議されることとなります。そのために、インターネット会議システムの導入することや会議用マイクスピーカーを購入することにしました。

4 新型コロナウイルス感染症対策

牧師はマスクを着用し、アクリルパネルを設置することにしました。

5 教会員数、種別、総会構成員

総数が216人であると報告され、遠隔地にお住まいの皆さんを「住会員」とすることにしました。また、総会構成員については、最近総

会成立が際どい年が続いており、今後もその傾向が強まることが予測されます。そのため現任陪餐堅信会員について、過去一年の礼拝出席状況などを踏まえて、次の総会構成員を確定することにしました。

6 その他

今年度の諸委員の候補者をあげ、依頼していくことになりました。確定後、ご報告いたします。

皆さんとご家族の健康が、主にあって守られますように。(佐藤)

教会ツイートから

「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」
ヘブライ人への手紙11章1節

人の望みははかなく潰えることがありますが、神が望まれる事柄は必ず実現するのです。この神の御心を信じることで、これが信仰です。そして、神はあなたが生きることを今日も望まれています。

■牧師室より

暖かくなったかと思えば、寒い日が続く。「三寒四温」とはよく言ったものです。毎年、こうして春は近づいているのですね。

困難な時期が続いています。困難のただ中にいると、いつまでも続くように思われます。しかし、人生も「三寒四温」に似たところがあるのではないのでしょうか。困難な中にも、小さな喜びを見つけ、そんなことを繰り返しながら、少しずつ近づく春を迎えたいですね。(佐藤)

今月の受洗記念日の皆さん

- 5日 田〇〇一郎兄、田〇〇るみ姉
- 23日 津〇〇子姉
- 26日 〇谷〇介兄、〇本美〇子姉
- 31日 〇井智〇兄、〇谷〇美姉

おめでとうございます。



「あなたの御言葉は、わたしのものとなり
わたしの心は喜び躍りました。」エレ2ヤ6章15節(新約)
毎朝の御言葉ウェブサイト <https://www.jk-fujigaoka.org/>
フェイスブックで礼拝のライブ配信をしています。(日14時15分~16時)